



北見赤十字病院 がんサロン ほほえみ

ほほえみ通信

Vol. 120

2019/3/27 発行

第120回 ほほえみ 開催

3月20日（水）第120回 ほほえみを開催しました。
11名の方が参加してくれ、3名が初めて参加される方でした。
先月の市民公開講座でほほえみのことを知って参加していた
だけの方もいらっしゃいました。



次回のほほえみは、4/17（水）14時から16時まで
本館3階 特別会議室での開催となります

【がんサロン事務局より】

『がんを治す費用は、命の値段？』

（がん体験記）

かつては“死の病”と恐れられていたがん。でもこの十数年で、急速に治療が進歩してきているように感じます。期待するのは、やはり“遺伝子治療”でしょうか。

少し前、ノーベル賞で話題となった“オプジーボ”。年間の薬価が“3500万円”というのにも大きな衝撃を受けましたが、今回、日本で承認された“キムリア”は1回の投与で5000万円（アメリカでの場合）とか。言葉を失うほどの値段です。

夢であった“がんの完治”。私たちががん患者やその家族もそうですが、研究者の方々の希望でもあると思います。

でもここに来て、あまりにも高額な治療費。手に届きそうなほどすぐそこまで来ていた“完治”という現実が、なんだか遠ざかっていくような気がします。

私たち一般市民には・・・少なくとも私には、そんな高額な治療費は払えません。

「やっぱりがんは、お金持ちが命を永らえる病なのか・・・」

「ひとの命は、お金で買うものなのか・・・」

そんな思いが拭えません。

（北海道／女性／乳がん／がん患者本人）